

# 十和田・奥入瀬・八甲田魅力「深」発見プロジェクト



## 現状と課題

◆ 十和田湖は、青森・秋田の両県にまたがるカルデラ湖。十和田湖・子ノ口から焼山までの約14kmの流れが、奥入瀬渓流。

◆ 本県観光の中心を担ってきた十和田八甲田地域は、観光形態の変化や、東日本大震災の影響により、観光客数が減少  
(震災前約243万人→約192万人)

◆ 周辺ホテル・商業施設の休業による廃屋が景観を阻害

◆ 奥入瀬（青楓山）バイパス開通（平成30年代半ば予定）後は、溪流区間で車両乗入れ規制

・国立公園指定80周年(H28)  
・十和田八幡平国立公園が  
国立公園満喫プロジェクト  
に選定



十和田八甲田地域が有する  
本来の魅力をとことん生かした  
誘客促進の絶好のチャンス

## 事業内容



### 1 自然体験型観光メニューの発掘と地域間連携の強化

- ・滞在型観光を促進する体験メニューの開発、モニターツアーの実施
- ・海外情報発信力の強化（多言語PR動画の作成）

### 2 新たな交通システムを活用したエコツーリズムの強化

※新たな交通システム：マイカー規制時の代替交通として、環境にやさしい、すべての来訪者にやさしい、楽しめる乗り物サービスを提供する仕組み

- ・快適性と楽しさを提供する新たな交通システムの調査・実証
- ・自然観光資源ハンドブックの作成、モデルツアーの試行
- ・新たな交通システムを活用したビジネスモデルの構築
- ・新たな交通システムのプラットフォーム（ITツール）の構築
- ・代替交通とモデルツアーの運用実験  
⇒2020年度以降、交通と観光を一体的に提供する運営組織体の立ち上げを目指す。

### 3 食と自然による滞在型観光モデルの構築

- ・インバウンド需要を的確に捉えた誘客を推進するため、本県の強みである自然と食に、宿泊を組み合わせた、オーベルジュ等の上質な滞在型観光モデルを構築  
(オーベルジュ誘致に向けたセールス活動、仮想オーベルジュ体験の実施)

## 事業効果

「十和田・奥入瀬・八甲田  
魅力『深』発見プロジェクト」  
＋  
「国立公園満喫プロジェクト」



- ・自然の保護と活用
- ・誘客促進
- ・地域活性化